

教父研究会活動報告

(二〇一四年一月～二〇一四年二月)

第一四七回教父研究会

二〇一四年三月二十九日(土) 上智大学

講演会

加藤武氏「Tempus et Adverbium temporale」

第一四八回教父研究会

二〇一四年六月一日(土) 上智大学

後藤里菜氏「中世キリスト教世界―与えられる「実際的

な叫び」をめぐって」

平野和歌子氏「三位一体における御父と御子の等しさ―

アウグステイヌス『マクシミヌス批判』にもとづいて―」

第一四九回教父研究会

二〇一四年九月七日(日) 中央大学

講演会(土橋茂樹研究室との共催)

ブロンウエン・ニール氏「シユネシオスと古代末期にお

ける夢解釈―テオーシスとしての夢見」

第一五〇回教父研究会

二〇一四年二月二十七日(土) 上智大学

小山貴広氏「『感覚の深い洞窟』―アウグステイヌス主

義者としての十字架のヨハネ」

波多野瞭氏「教化・恩寵・ふさわしさ―トマス・アクイ

ナスの沈黙に対する肯定的読解の試み―」

教父研究会役員(二〇一三年六月から)

名誉会長 加藤信朗

会長 出村和彦

理事 上村直樹・柴田有・高橋英海(事務局長・編

集担当理事)・出村和彦・水落健治・宮本久雄・

村上寛・山本芳久(事務局・編集担当理事)

会計監査 高橋雅人

幹事 編集担当 袴田涉

会計担当 袴田玲

庶務担当 坂田奈々絵

査読担当 高橋英海・出村和彦・水落健治・村上寛・

山本芳久

事務局所在地

〒一五三一八九〇二

東京都目黒区駒場三一八一

東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

高橋英海研究室

『パトリスティカ』投稿規定

1. 本誌への投稿は、教父研究会での口頭発表を前提とする。発表を希望する会員は、原則として、発表前年の一月末日までに事務局宛にメールにて申し込むこと。事務局のメールアドレスは、以下のとおり。

takahashi@ask.cu-tokyo.ac.jp

2. 投稿原稿の締め切りは、発行年の三月末日とする（依頼原稿は必ずしもこの限りではない）。
3. 本誌は投稿原稿に限り、査読制を採用している。原稿の採否、及びその取り扱い、提出原稿を審査のうえ、運営委員会が決定し、投稿申込者に通知する。
4. 原稿の字数は、一六、〇〇〇字以内
縦書き（欧文タイトルを付す）

編集後記

本号は、宮本久雄先生退官記念号として、先生とゆかりの深い多様な寄稿者からの興味深いエッセイ集を掲載する運びとなりました。刊行前に、エッセイ寄稿者の一人である岩田靖夫先生がお亡くなりになりました。本号を岩田先生にお届けすることができなかつたのは大変残念ですが、同時に、岩田先生の渾身の御論考をこのような仕方では活字にできませんでしたことを、教父研究会として、光栄に思います。また、論文も、ラテン教父・ギリシア教父の双方についての論考に加え、中世の女性神秘家についての論考も掲載することができ、広がりのある内容になりました。出版事情の厳しいなか、教友社の阿部川様をはじめとする皆様のご協力のもと、このような豊かな内容を持った本号を無事にお届けすることができましたことを、嬉しく思います。（山本芳久記）